

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2023年 第25週 (6/19-6/25) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	定点	25週	24週	23週	22週	
上段: 患者数 下段: 定点当たりの報告数 「定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数	小児科	18	18	17	17	*正式名称は インフルエンザ/COVID-19定点
	眼科	5	5	5	5	
	*インフル/COVID	28	28	27	27	
	基幹	1	1	1	1	

定点	感染症名	注意報	千葉市				千葉県
			6/19-6/25	6/12-6/18	6/5-6/11	5/29-6/4	6/12-6/18
			25週	24週	23週	22週	24週
小児科	RSウイルス感染症	○	20	18	17	21	321
	咽頭結膜熱		0	3	1	3	57
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		11	14	11	12	211
	感染性胃腸炎	↓	194	226	173	194	778
	水痘		1	4	1	1	15
	手足口病	○	30	23	11	13	144
	伝染性紅斑		0	0	0	0	0
	突発性発しん		9	5	8	8	33
	ヘルパンギーナ	★★◎	166	120	74	44	904
	流行性耳下腺炎		1	4	1	2	11
*インフル/COVID	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓	37	42	40	39	156
	新型コロナウイルス感染症	↓↓	161	193	139	155	1592
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	0	4	0	13
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	1	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

「流行中」 流行発生警報開始基準値以上

「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

## 2 全数報告対象疾患: 7 例

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査	E型肝炎	男性	70歳代	血清IgA抗体の検出
	男性	80歳代	病原体等の検出等	レジオネラ症	男性	40歳代	病原体抗原等の検出
腸管出血性 大腸菌感染症	男性	40歳代	病原体の分離・同定 及びベロ毒素の確認	梅毒	男性	20歳代	血清抗体の検出
					男性	40歳代	

\*第25週は、結核2例(55)、腸管出血性大腸菌感染症1例(5)、E型肝炎1例(5)、レジオネラ症1例(4)、梅毒2例(37)の発生届があった。

※ ( )内は2023年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第25週のコメント

### <RSウイルス感染症>

前週からやや増加して1.11となった。過去10年の同時期と比べると多い。年齢階級別の報告数は6-11か月及び1歳で最多。区別では、緑区(3.25)が最多で、同区の1歳の報告が最も多かった。

### <感染性胃腸炎>

前週よりやや減少し10.78となった。過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は3歳で最多。区別では、緑区(24.00)で流行発生警報開始基準値(20.00)を上回り最多で、同区の1歳で報告が最も多くなった。他に若葉区(19.50)で流行発生警報終息基準値を上回った。

### <手足口病>

前週よりやや増加し、1.67となった。過去10年の同時期と比べるとやや多め。年齢階級別の報告数は1歳で最多。区別では、美浜区(4.00)で最多で、同区の1歳で報告が最も多くなった。

### <ヘルパンギーナ>

前週より更に増加し9.22となった。流行発生警報開始基準値(6.00)を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は3歳で最多。区別では、緑区(11.50)で流行発生警報開始基準値を上回り最多で、同区の3歳で最も多く報告があった。他に、稲毛区(11.33)、美浜区(9.75)、中央区(8.00)及び若葉区(7.00)で流行発生警報開始基準値を上回り、花見川区(4.50)で流行発生警報終息基準値(2.00)を上回った。

### <インフルエンザ>

前週からやや減少し1.32となった。過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は6歳で最多。区別では、緑区(3.80)で最多で、同区の6歳で最も多く報告があった。

### <新型コロナウイルス感染症>

前週より減少し5.75となった。区別では、美浜区(11.33)からの報告が最も多くなった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2023.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph\\_ward2023.pdf](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2023.pdf)